

# 授業のポイント

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために、「考え、議論する道徳」の授業を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることが大切です。

次の4つのポイントを意識して、「考え、議論する道徳」の授業を構想しました。

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| ○ 問題意識を持たせる     | ○ 自分との関わりで考えさせる   |
| ○ 多面的・多角的に考えさせる | ○ 自己の生き方について考えさせる |

## 小学校4年生 A-(1) 善悪の判断, 自律, 自由と責任「全校遠足とカワセミ」のポイント

<ねらい> 自ら信じることに従って正しいことを行ったときの充実した気持ちを考え、正しいと判断したことは、自信を持って行おうとする道徳的心情を育てる。

導入

道徳的価値の理解を基に・・・

①<問題意識を持たせる> ②<多面的・多角的に考えさせる>

- ・ 児童にとって身近な問題を取り上げ、「自分だったらどうするか」を心情円を使い、視覚化する。心情円を使い、近くの児童と交流し、一人一人感じ方が異なることに気付かせる。

③<多面的・多角的に考えさせる>

- ・ 「う・うん。わかった…」という曖昧な返事をしたのはどういう気持ちからか問い、おさむの心の葛藤を様々な価値から多面的・多角的に考えさせる。  
(発問) ○たけしがおさむに耳打ちしたときに、「う・うん。わかった…」と曖昧な返事したのは、どういう気持ちからでしょう。

④<自分との関わりで考えさせる>

- ・ おさむが葛藤を乗り越え、正しい判断ができたことについて、自分との関わりで考えさせる。  
(中心的な発問) ◎二・三步進んだところでおさむの足が止まったのは、どうしてでしょう。

⑤<自己の生き方について考えさせる>

- ・ 正しい判断をするために大切なことについて書かせることで、自分の生活を振り返り、自己の生き方についての考えを深めさせる。

展開

終末